

伊豆を
生きる人
・
夢

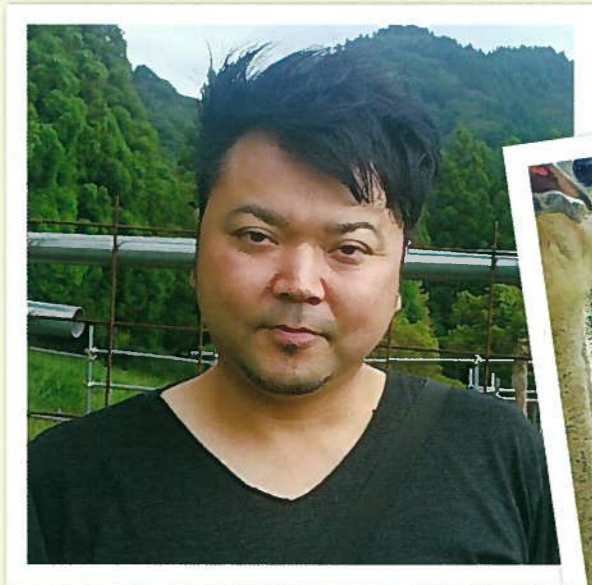


料理人として、ストーリーのある食材を自ら提供



(株)HOLY 代表取締役
地域おこし協力隊員

掘 浩一さん



静岡県清水の出身。38歳。

18歳まで清水で育ち、調理師専門学校へ進む。卒業後は都内の複数のレストランにて研鑽を積み、浅草では、6年半の間、イタリアンレストランのシェフとして腕を振った。その後、タイのバンコクにも渡り、料理長兼マネージャーとして、イタリアンレストラン2店舗の立ち上げにも関わる。日本に帰国後、再びシェフとして活動を始めるが、バンコクであんなに苦勞していた食材が日本では容易く入手でき、若い者は、目の前に届く冷凍の鳥肉を何の疑問も持たずに調理していく…。この食材のストーリーはどこにあるのだろう…そんな素朴な思いが料理人としての心の中に膨らんでいった…。堀氏が出した結論はこうだった。「そうだ、食材作りから始めてみよう」。

伊豆はそうした環境に適した場所だった。地域おこし協力隊員に登録すると共に、約1年前に移住。半年後には、西伊豆からストーリーのある食材を発信する会社、(株)HOLYを設立する。狩猟した鹿、猪な

どのジビエを食肉解体加工処理する施設も今年10月頃開設を目安に準備中。自らも狩猟免許を取得し、捕獲にも出かける。

一方、事業として、ジビエなどの不確定な供給に頼るだけでなく、安定供給も視野に入れる中、現在、同じ施設で加工が可能なダチョウの飼育を西天城高原で行っている。

ダチョウは低カロリー、高タンパク、脂肪燃焼を促進させる成分が多く含まれ、アスリート食としても注目が集まっていて、東京オリンピック開催の前に需要の気運が高まっている今こそ、第4の食肉として売り出したいと話す。

まだまだ値段が高いダチョウの肉だが、生産、加工、販売を一体化する事でコストを抑え、安く提供できる事でたくさんの人に食べてもらいたいという。

この思いは、生産から加工、販売までを一手に手掛ける事業所を支援する農林水産省の6次産業化の総合事業計画にも認定された。賀茂地区としては初となるだけに期待も大きい。

西伊豆の食材を世界に…と語る中、「地元の子供たちに給食でこのダチョウの肉を食べてもらいたいです」と語る彼の眼差しは、まぎれもなく料理人だった。

(株)HOLY (たまや王国)

〒410-3512
静岡県賀茂郡西伊豆町一色385
☎ 0558-52-0110



西天城高原で
飼育されている
ダチョウたち

みんなで作る
花畑の実現に向けて

「さつまあげ はやま」店主・松崎町観光協会副会長

端山智充さん



松崎町出身。49歳。

地元の高校を卒業後、身内であった端山水産の1部門で水産加工品を扱っていた事から、東京深川にある老舗の蒲鉾店にて4年程修行する。23歳の時に帰郷し、端山水産の一員として勤めながら、漁に出ていた伝手で、北海道など全国を回り、現在の仕事に繋がるノウハウなどを吸収する。平成12年に独立。「さつまあげ はやま」の看板を掲げる。素材に拘り、添加物を使用せず、魚本来の味を活かした手作りの味が好評となり「幻のさつまあげ」とまで言われるほどに。評判が評判を呼び、今では売上の7割は通信販売(地元以外)であ

り、リピーターのお客様も増え、信頼関係も築かれつつある。これが伊豆に来てもらうきっかけになれば嬉しいと話す。

そんな端山氏の有言実行の姿、また頼まれた事は基本的に断らないという信条から、いつしか、地域の中でも中心的な存在となり、現在、観光協会副会長などを務める。

今年2月、18年間継続してきた「田んぼを使った花畑」事業から町の補助金が終了する事が発表された。理由は「経済効果期待できず」だった。端山氏「3年前より「花がきれい」に咲いてないんじゃないか」という声を聞き、実行委員会を立ち上げ、全体の6分の1の面積を対象に試行錯誤を繰り返して、やっと成果が表れてきた。そんなタイミングでの発表だった。

町から何の相談もないままの突然の発表…。しかし、憤るより先に前を向いた。自分たちの手でみんなで作る、みんなの花畑を実現しよう。地域おこし協力隊員の寺田氏の助言もあり、クラウドファンディングという手法に打って出た。同時に、クラウドファンディングだけに頼り切るのはなく、理解と協力の輪を広げるべく町を回った。1人が10人やれば、10人いれば100人…。有

県内外
からも多くが
訪れる花畑



言実行の人はそう話す。6月までの目標額は180万円。それも到達する見込みである。

端山氏は話す「伊豆はもっと丁寧に取り組んでいけば宝の山。産業なくして観光なし、地域に仕事を作る事で、若者をもっと引き寄せたいと思っています。そして何より、こういう活動を楽しむ事が大事です。仲間と共にたくさんの方を共有したいと思っています」有言実行の人は前を向いていた。

さつまあげ はやま

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎495-111
☎ 0558-43-3535
http://www.at-ml.jp/72129/